

# 農地整備課

平成27年度

# 農地整備課

## 1 概 況

諏訪湖周辺地域は、耕地面積が少なく、平地部の基盤整備は概ね完了しているが、中山間地域では、地形条件や整備コストの面から未整備の区域も残っている。

八ヶ岳西麓地域は、昭和40年代から近年にかけてほ場整備を実施しており、地域を南北に貫く広域農道「八ヶ岳エコーライン」も開通したことから、大規模経営体等による水稻や野菜・花きの主要産地となっている。

管内の耕地面積は6,214haで、そのうち4,132haが整備済みであり、整備率(67%)は県平均(58%)を上回っている。また、畑地かんがい施設の整備率(10%)は、県平均(26%)よりも低い。

(単位：ha)

区 分	耕地面積	整備済み面積 (20a以上)	整備率	畑地かんがい		
				整備済み面積	整備率	
諏訪管内		6,214	4,132	66.5%	—	—
	水田	3,424	2,987	87.2%	—	—
	畑	2,790	1,145	41.0%	286	10.3%
県全体		109,966	63,932	58.1%	—	—
	水田	54,476	45,025	82.7%	—	—
	畑	55,490	18,907	34.1%	14,604	26.3%

※平成26年度末実績(農地整備課調べ)

管内には、受益面積100ha以上の基幹的な用排水路が約69kmあり、そのうち約37km(54%)が改修されているが、土型水路の箇所も多く残っている。

また、白樺湖、蓼科湖をはじめとする66箇所の農業用ため池がある。

区 分	基幹的な 用排水路延長	整備済み延長	整備率	農業用ため池数
諏訪管内	68.9km	36.9km	53.6%	66箇所

※平成26年度末実績(農地整備課調べ)

## 2 農業農村整備事業の概要

平成25年に策定された「第2期長野県食と農業農村振興計画：H25～H29」及び「長野県農業農村整備計画(第7次長野県土地改良長期計画)：H25～H29」に基づき、『水・土・里と人を結び、輝く農業・農村』の実現に向け、事業を進めている。

管内では、老朽化した用水路やため池、農道等の農業用施設の更新・整備が必要となっており、八ヶ岳西麓地域を中心に農業農村整備事業を実施している。

また、急峻な地形や豊富な水量を活かし、農業用水を活用した小水力発電の導入を促進している。

### 3 事業実施状況

#### (1) 信州農畜産物の生産を支える基盤づくり

##### ア 県営かんがい排水事業

管内の基幹的農業用水路は、土型水路の箇所が多く、漏水による用水量不足や維持管理労力の増加が課題となっている。農産物の生産に不可欠な農業用水を安定供給するため、水路の更新・整備を実施する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
一ノ瀬 <sup>せぎ</sup> 汐	H22～H27	152,000	125,000	27,000	100.0%	-	茅野市 原村
滝之湯 <sup>せぎ</sup> 堰	H24～H28	368,000	188,000	(13,400) 70,000	70.1%	110,000	茅野市
計 (2地区)		520,000	313,000	(13,400) 97,000	78.8%	110,000	

※27年度欄の上段( )は、26年度繰越額で外数

##### イ 経営体育成基盤整備事業（実施計画策定）

担い手への農地集積の加速化に必要となる農地の大区画化、汎用化等の基盤整備を実施するため、実施計画を策定する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
大平	H27	5,000	-	5,000	100.0%	-	富士見町

##### ウ 団体営土地改良事業

担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化を進め、意欲ある農業者が農業を継続できるよう、地域の実情に応じたきめ細かな農地・農業水利施設等の整備を実施する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
農業基盤整備促進事業							
富士見三期	H25～H28	134,000	62,030	14,300	57.0%	57,670	富士見町
原二期	H25～H30	162,000	42,000	13,270	34.1%	106,730	原村
効果促進事業							
一ノ瀬 <sup>せぎ</sup> 汐	H24～H27	30,000	24,300	5,700	100.0%	-	原村
農用地等集団化事業							
大平	H27	1,000	-	1,000	100.0%	-	富士見町
計 (4地区)		327,000	128,330	34,270	49.7%	164,400	

## (2) 安全で暮らしやすい農村づくり

### ア 県営農村地域防災減災事業

管内の全市町村が「東海地震に係る地震防災対策強化地域」に指定されており、豪雨や地震等の災害から地域住民や農地等を守るため、改修が必要なため池や水路の整備を実施する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
本郷	H23 ～H27	230,000	207,000	(10,000) 23,000	100.0%	-	富士見町

※27年度欄の上段( )は、26年度繰越額で外数

### イ 県営農道整備事業

消費者ニーズの多様化により、野菜や花きの生産が増加していることから、粉塵や荷傷みによる被害を防止し、農産物の品質向上を図るとともに、集落機能の維持に向けて、農道の舗装を実施する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
原	H22 ～H29	657,000	502,380	(22,000) 47,000	83.6%	107,620	原村
茅野南部	H23 ～H28	344,000	264,000	18,000	82.0%	62,000	茅野市
立沢乙事	H23 ～H28	283,000	236,000	27,000	92.9%	20,000	富士見町
計 (3地区)		1,284,000	1,002,380	(22,000) 92,000	85.2%	189,620	

※27年度欄の上段( )は、26年度繰越額で外数

### ウ 県営中山間総合整備事業

農業従事者の減少・高齢化や耕作放棄地の増加等の課題を抱える中山間地域において、農業の継続と農村の活性化を図るため、農業生産基盤整備と農村生活環境整備を総合的に実施する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
縄文の里	H27 ～H31	985,000	-	30,000	3.0%	955,000	茅野市

### エ 団体営農村地域防災減災事業（調査計画）

災害の発生が懸念されるため池や水路等の整備を実施するため、実施計画を策定する。

(単位：千円)

地区名	実施年度	全体事業費	26年度まで	27年度		28年度以降	関係市町村
					進捗率		
中新田	H27	8,000	-	8,000	100.0%	-	原村

### (3) 農村の公益的機能の維持・発揮

#### ア 多面的機能支払事業

農業・農村は、水資源のかん養、農村景観の形成、国土や自然環境の保全等、多面的な機能を有している。

将来にわたり、農地、水路、農道等の地域資源が適切に保全されるよう、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業者等が地域ぐるみで取り組む共同活動等を支援する。

(単位：千円)

区 分	組織数	対象農用地面積	27年度交付金
農地維持支払交付金	42	2,436 ha	68,000
資源向上支払交付金 (資源向上を図る共同活動)	(21) 22	(1,210) 1,210 ha	19,687
資源向上支払交付金 (長寿命化のための活動)	(24) 25	(1,765) 1,829 ha	70,130
多面的機能支払推進交付金	-	-	1,020
計	43	2,500 ha	158,837

※組織数及び対象農用地面積の上段( )は、農地維持支払交付金との重複分で内数

#### イ 地籍調査事業

県土の保全並びに土地に関する施策の基礎資料として活用するため、土地の所有者、地番、地目、境界等を調査する。

(単位：千円)

市町村名	実施年度	対象面積	26年度まで		27年度 事業費	備 考
			実施面積	進捗率		
茅野市	H24～ (再開)	215.62km <sup>2</sup>	14.01km <sup>2</sup>	6.5%	12,482	S32～H23 休止

#### ウ 農業用水路を利用した小水力発電

平成26年7月に公表された「農業用水路を利用した小水力発電の候補地の調査結果」において、諏訪管内は、県内で最も候補地が多いことから、企業等による小水力発電の検討・設置を促進する。

水路名	発電施設名	設置者	運転開始	最大出力	水路管理者
滝之湯堰	蓼科第二発電所	三峰川電力(株)	26年1月	141kw	茅野市滝之湯堰 土地改良区